

質 問 書

2021年3月10日

「(案件名)アフリカ地域自動車産業振興(ポストコロナのサプライチェーン・モビリティ改革)に係る情報収集・確認調査」
(公示日:2021年2月24日/公示番号:20a00925)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P17(7)コロナ禍における本調査の進め方について	コロナウィルスによる影響で現地渡航が困難になった際は、オンラインツールの活用や現地再委託の活用だけでなく、業務の実施期間自体の延長なども選択肢としてあり得るという理解でよいのか？	その時点での進捗等を見てご相談させていただき、必要と判断された場合は、履行期間の延長もありうと考えています
2	P20(8)インテリムレポート	インセプションレポートを修正する必要性あるか？ インテリムレポート内にてインセプションからの変更点を記す形でよいのでは？	インテリムレポート内にて、インセプションレポートからの修正点を記載することといたします。
3	p.24(2) 1) 業務量の目途	5 か国への渡航に関して、現時点での日本での水際対策として帰国後 14 日間の自主隔離期間があるが、この間は次の国へ再渡航はせずに自主隔離期間終了後に再渡航という理解で良いのか？	ご理解のとおり、JICA では第三国、他の事業サイトへの感染拡大防止のため、基本的には本邦帰国後は、再出発までに、14 日間の隔離を求めています。
4	第 3 章特記仕様書 第5条 調査の内容	タイムラインについて、現地拠点のコンサルタントを活用することで、特記仕様書で想定されている期間よりも、より短期間で調査を実施する提案をしても問題ございませんでしょうか	問題ございません。プロポーザルにて具体的な実施方法や品質の確保方法についても記載いただけますようお願いいたします。
5	2. プロポーザル作成上の条件 (2) 外国籍人材の活用 (p.12)	本業務では、評価対象者は日本籍メンバーを中心とするものの、事業実施に際しては外国籍人材の作業工数が増えることが予想されます。コロナ禍での特殊な状況下での調査であることを鑑み、右記載の目途(当該業務全体の業務従事人月の2分の1及び業務従事者数の2分の1)を超える外国籍人材の活用についても柔軟に提案を認めていただくことをご検討いただけますでしょうか	可能な限り柔軟に対応したいと思いますので、目途を超えた外国籍人材を配置する必要性についてもプロポーザルにて合わせて記載いただけますようお願いいたします。
6	第3条 調査の目的と範囲 (1)調査の目的 第4条 調査実施の留意事項	重点国 5 か国、準重点国 3 か国以外のアフリカ諸国については、個別の分析は必要ないものの、アフリカ地域全体としての状況把握として対象となるという理解でよろしいでしょうか	ご理解のとおりです。

以 上